

令和6年能登半島地震における 奈良市の支援体制について

令和6年1月29日



支援物資

調達日	品目	数量	支援先	出発日	搬入日
1月3日(水)	飲料水	約 9.4トン	かほく市	1月3日(水)	同日
1月5日(金)	飲料水	約 9.5トン	七尾市	1月5日(金)	同日
1月7日(日)	テント型間仕切り	200 張	七尾市	1月7日(日)	1月8日(月)
	アルミシート (各種)	258 枚	七尾市	1月7日(日)	1月8日(月)
	スタイロフォーム	111 枚	七尾市	1月7日(日)	1月8日(月)
1月8日(月)	衣服 (靴下、肌着等各種)	3,685 点	七尾市	1月9日(火)	同日
1月9日(火)	スタイロフォーム	900枚	穴水町	事業者から 直接発送	1月12日(金)600枚 1月13日(土)300枚
1月20日(土)	飲料水	約 9.6トン	七尾市	1月20日(土)	1月21日(日)

市職員の派遣

【令和6年1月26日（金）時点での派遣人数】

一般職57名 企業局6名 市消防局94名

計157名

奈良市消防局からの派遣

緊急消防援助隊	支援先	人数	出発	帰任
第一次隊	輪島市	7 隊25名	1 月 1 日 (月)	1 月 4 日 (木)
第二次隊	輪島市	7 隊23名	1 月 3 日 (水)	1 月 6 日 (土)
第三次隊	輪島市	7 隊22名	1 月 5 日 (金)	1 月 8 日 (月)
第四次隊	輪島市	7 隊22名	1 月 7 日 (日)	1 月10日 (水)
引揚隊	穴水町	1 隊 2名	1 月 9 日 (火)	1 月10日 (水)

市職員の派遣

陣	支援先	人数	出発	帰着
先遣隊	石川県七尾市	2名	1月5日(金)	1月11日(木)
第1陣	石川県七尾市	9名	1月6日(土)	1月11日(木)
第2陣	石川県七尾市	10名	1月10日(水)	1月16日(火)
第3陣	石川県穴水町	10名	1月15日(月)	1月21日(日)
第4陣	石川県穴水町	10名	1月20日(土)	1月26日(金)
第5陣	石川県穴水町	10名	1月25日(木)	1月31日(水) 予定

隊	支援先	人数	出発	帰着
企業局 第1陣		2名	1月4日(木)	
企業局 第2陣 (給水車とともに)	穴水町・能登町	2名	1月12日(金)	1月17日(水)
企業局 第3陣	能登町	2名	1月16日(火)	1月20日(土)

市職員の派遣

隊	支援先	人数	出発	帰着
被災建築物応急危険度判定のための派遣	輪島市	2名	1月13日（土）	1月17日（水）
被災建築物応急危険度判定のための派遣	輪島市	2名	1月15日（月）	1月19日（金）
建物被害認定支援業務に関する派遣	穴水町	2名	1月17日（水）	1月26日（金）

義援金

総額：983万1,357円

令和6年1月25日（木）時点

日付	街頭募金			本庁舎設置 募金箱	合計
	近鉄奈良駅前行基広場	ならファミリー フードコート	成人式会場		
合計	4,823,010円	3,120,522円	7,411円	1,880,414円	9,831,357円

1月3日から8日に、近鉄奈良駅前行基広場とならファミリーフードコート等で義援金募金の呼びかけを実施し、総額8,002,319円集まりました。集まった募金は石川県七尾市に500万円、同県穴水町に300万円をお届けしました（端数は、中央共同募金会を通じて被災地に送金します）。

その他の支援

【1月7日】市営住宅等の提供

【能登半島地震で被災された方へ】市営住宅等
を提供します



更新日：2024年1月7日更新



奈良市では、令和6年能登半島地震によって住宅が被災した方を対象に、一時的な避難場所として市営住宅等を提供します。

対象者



令和6年能登半島地震により、居住していた住宅が全壊または半壊等の被害を受け、現に住宅に困窮している世帯

提供住宅



- 戸数 10戸（先着順、ただし応募状況に応じて追加を検討）
- 家賃 無料（光熱費等は別途必要）
- 期間 6か月以内（必要に応じて1年まで更新可能）

問合せ：10件 鍵のお渡し：1件（入居準備中）
（1/26現在）

【1月8日】ホテル・旅館への一時避難

【能登半島地震で被災された方へ】ホテル・旅館を一時避難場所として利用できます



更新日：2024年1月9日更新



深刻な住宅被害をもたらした能登半島地震。住む場所に困っている方の支援になれば、という思いから、市内の宿泊施設を一時避難所としてご利用いただける制度をご用意しました。最長1か月で宿泊費は無料。奈良に親戚やお知り合いがいる方、もちろんそれ以外の方も、ぜひ利用をご検討ください。

対象者



令和6年能登半島地震により、居住していた住宅が全壊または半壊等の被害を受け、住む場所にお困りの世帯

利用可能な宿泊施設



観光都市である奈良市には、多くの宿泊施設があります。この度、下記のホテル・旅館が、被災者支援のために客室をご提供くださいました。周辺には飲食店やコンビニ・スーパー、金融機関等があり、鉄道駅やバス路線等の交通面も充実しています。生活するうえで必要な施設がひとつとおり整っています。

利用状況：11世帯、22名（1/26現在）